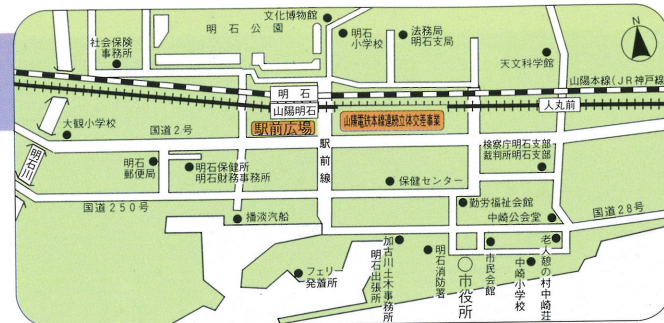


明石駅周辺整備
事業

(明石市)
山陽電鉄本線連続立体
交差事業／都市計画道路 駅前線(駅前広場)整備事業

■表彰対象者：兵庫県土木部 明石市都市計画部



表彰の理由

阪神淡路大震災等幾多の困難を克服し、交通の要衝となっている中心市街地の踏切除却と比較的幅の狭い市街地において工夫を凝らした駅前広場を整備したことにより、慢性的な交通渋滞の解消と交通機関相互の乗り継ぎ等、利便性の向上が図られ、市の玄関口にふさわしい空間整備として評価された。



全景 (右側奥：山陽電鉄新明石駅、手前：駅前広場)

事業のあらまし

明石駅は、JR山陽本線、山陽電鉄をはじめ、神姫バス、明石市バス、神戸市バス、淡路島への旅客船航路などが結節する、一大ターミナルである。しかし、山陽電鉄の踏切等により、慢性的に交通が渋滞しており、また、バスターミナルや広場などの結節機能も不十分であったため、山陽電鉄の高架化と駅前広場の整備を実施し、東播磨地域の中心地として、明石市の都心・玄関口にふさわしい空間整備を行ったものである。

- ・山陽電鉄本線連続立体交差事業
- 延長：1,950m
- 全体事業費：24,400百万円
- うち街路事業費：21,530百万円
- 事業期間：昭和53年度～平成6年度
- ・駅前線・駅前広場整備事業
- 面積：9,200㎡
- 整備内容：バス＝10バース、タクシー＝4バース、「鐘の鳴る時報塔」、明石瓦による歩道舗装など
- 全体事業費：8,400百万円
- うち街路事業費：3,509百万円



系統別に設置され、わかりやすくなったバス乗り場



シンボルモニュメント「鐘の鳴る時報塔」



駅前広場と高架新駅をのぞむ夜間風景



新たに設置された案内板



整備前



整備前 (左側の山陽電鉄線を右側のJR山陽本線の隣に移設)

事業の効果

山陽電鉄の踏切除却等によって、明石駅周辺の道路交通、特に南北交通の円滑化が図られるとともに、電車運行の安全性が向上した。また、高架新駅が既存のJR明石駅と隣接したこと、駅前広場の設置によりターミナル機能が整備されたことなどから、交通機関相互の乗り継ぎが効率的、快適になったことはもとより、明石市の玄関口としての潤いと賑わいのある駅前空間が生まれ、都市部の活性化が図られた。